

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第3回 里地里山保全利活用専門部会 議事要旨

1 開催日時：平成28年2月8日（月）午後3時00分～午後4時30分

2 開催場所：黒川谷ツ公園内緑農会館

3 出席者：[座長]三谷教授

[専門部会委員] 梶委員、野島委員、市川委員、越畠委員、古山委員、
久延委員、山中委員、高橋委員

(欠席) 深澤委員、永江委員、

[事務局] 川崎市みどりの協働推進課 蝶田課長、池田係長、山口主任
コンサルタント ((株)URリンクージ 遠藤副課長、古山主任)

4 議事：

《主な意見》

(1) 今年度の取り組みに関する中間報告

①竹行燈づくりについて

- ・竹行燈づくりは、昨年実施し評判が良かったという印象があるので、次年度も継続的に実施していく。
- ・今年度の竹行燈づくりに協力してもらった地元の方々を集め、「黒川竹行燈の会」という組織を発足した。一応「竹行燈」と入っているが、竹を活用していろいろなものをつくる団体になれば良いと考えている。
- ・今まででは、イベント型の大きい竹行燈を作っていたが、室内に飾る小型の行燈も作れるようになりようとしている。できれば、明治大学黒川農場の収穫祭の際に、竹行燈のコーナーを設けて、竹行燈を展示して、販売するところまでつなげられたら面白いと思う。
- ・竹の保存方法が課題である。竹を切った時期や場所にもよるが、長持ちしても3か月程度で割れてしまう。最近は、バーナーで竹の表面の油を抜いたものに、文字を彫ってデザインし、コーティングにミツロウを塗っている。塗ってからまだ時間が経っていないので、効果が確認できていないが、ミツロウの効果が出て、割れずに長持ちしたら、この方法で、1節の室内用の行燈として販売できるものになると思う。竹が割れずに長持ちする方法をいろいろ試していきたいと考えている。
- ・竹行燈の裏に入れる電源について。昨年11月のようなイベントでは、100円ショップのLEDライトでよいと思うが、屋外で夜展示するイベントでは、100ボルトの電源で明るく照らすほうが、迫力が出るし竹行燈の良さが引き立ち印象も強くなる。最近、LEDランプも、白色、黄色や赤、など色が変えられるので、大型のイベントで使用し、色を変えるとおもしろいと思う。平成28年度はそういうものを導入していきたい。しかし、安く見積もっても、1節の中に1個（100ボルト電源のライトを）入れると1500円ほどかかる。販売するのであれば、元が取れるが、イベント型で展示するだけの場合などは、道具の資金調達が課題になってくる。少し行政にも協力していただきたい。

②里地里山保全活動体験について

〈3月5日（土）のイベントの説明：事務局〉

- ・平成28年3月5日（土）に黒川丸山特別緑地保全地区で、里山保全活動体験を実施する。イベント当日の流れは、9時にはるひ野駅に集合し、受付を行う。黒川丸山特別緑地保全地区に移動し、開会式とササ刈りのレクチャーを行う。9時半からササ刈りを開始し、途中休憩も入れて、11時半までの約2時間活動を行う。黒川海道特別緑地保全地区を散策し、地元の方が植えたのらぼう菜や地元農業者の里山保全活動の紹介し、そこで解散する。
- ・「かわさき緑レンジャー」の方にも参加していただき、参加者へ竹引きのこぎりの使い方や道具の手入れの仕方などをレクチャーしてもらう。
- ・ササ刈りの道具は鎌だと危険なので、竹引きののこぎりでササを刈ってもらう。竹引きののこぎりとヘルメット等は事務局が用意し、参加者には、軍手だけを持参してもらう。

〈里山保全活動に関する意見交換〉

- ・竹については、竹行燈で少しづつ消化していくかと考えているが50年経った太い木は、やりようがない。地域のボランティア団体にはどうにもできない。行政がある程度伐採していく必要がある。伐採しないと枯れて倒れてくる木も出てくる。伐採して更新していくプログラムを作っていく必要がある。
- ・黒川地域は、昔作業した経験のある人たちが残っているから、いろいろな意見も出るし、何かあったときに頼りにもなる。あと10年や20年経ったら、そういう経験者がいなくなっていていかなくてはいけない。黒川地域の山は、業者に依頼して管理するような山ではない。
- ・全部を地元で管理するのは無理だが、地元は山を守ってきた経験があり、歴史的な流れを見ている。今のままではまずいのはわかっているが、川崎市の山だから手を出せなくなっている。竹やナラも今まで生活に必要だったから山にあり、それが更新できていたから里山の良さが残っていた。それがただ大きくなるだけの山だったら里山ではなくなってしまう。
- ・地域としての景観や緑地は、行政が指定した場所が最後の砦になってしまうかもしれない。大変だとは思うが、それなりの重みのあるものだと思って、管理計画を立ててほしいし、それに必要な対応ができるような予算などをとれるように努力していただきたい。

（2）実施計画について

- ・実施計画については、また、ときどきにメンバーの中から良いご提案があれば、それを反映していただきたい。現時点では、この案で協議会に提出して、次年度以降進めていきたいと思う。

（3）今後の予定について

- ・第3回黒川地域連携協議会は3月24日に開催する。本日決まった里地里山保全利活用専門部会の案件と3月5日（土）の里山保全活動体験の内容を報告する予定。

以上